



看護あおいたこ

第133号

令和6年
11月30日発行

私が受けたい看護、私の大切な人に受けさせたい看護、それは看護部の理念である「個人を尊重し、優しく思いやりのある看護」が根底にある看護です。

急性期からのバトンを受けて、慢性期の看護師として患者さんへ関わっていきます。

会員数 総数 9,957名

保健師 543名

助産師 210名

看護師 8,682名

准看護師 522名

(2024年10月末日現在の加入数)

<https://www.oita-kango.com>



Contents

トップに聞く	2
2024年度 地区别施設代表者会議	3
看護の現場から	4
2024年度 大分県職能別交流集会	5
2024年度 災害支援ナース等交流会	6
2024年度 リスクマネジャー交流会	6
中小規模病院等看護管理者支援研修	7
大分県看護協会の代議員選挙制度が変わります！	8・9
ナースセンターからのおたより	10・11
地区活動紹介（大分西部地区）	12
いのち輝く「いいお産の日」	12
地域活動のご紹介	13
研修部だより	14
「認知症高齢者の看護実践に必要な知識 2日間コース」を受講された方へ	15
理事会審議事項報告（2024年7月～10月）	15
会員係より	16
Information（2024年12月～2025年3月）	16

トップに聞く

社会医療法人 帰巣会 白杵病院

住所／〒875-0023 大分県臼杵市大字江無田1154番地1
TEL／0972-83-8100 FAX／0972-83-8105

施設代表者の看護に対する思いや後輩に伝えたいことなど、施設とともに紹介します。



社会医療法人帰巣会 白杵病院
看護部長 認定看護管理者 甲斐 清美

社会医療法人帰巣会は、139年目を迎える歴史ある法人で、臼杵病院は臼杵地区に開院しています。帰巣会の理念は「医療、保健、福祉の良質的かつ包括的サービスに応え、地域の医療資源、社会資源と連携し地域の健康づくりに貢献します」です。

現在は地域包括ケア病棟33床、療養病棟30床ですが、2025年1月には療養病棟を回復期リハビリテーション病棟に変更します。「地域で生活する」を目標に、地域の人々の健やかな暮らしをサポートするための支援を多職種で行っています。

看護部の理念は、「私たちは個人を尊重し、やさしく思いやりのある看護・介護を提供します」です。看護管理の経験が豊富な師長や看護に対する思いを共有できる師長などに支えられながら、各部署の教育・組織化がスピーディにできていると感じています。

患者の高齢化と共に病態も複雑化しています。臼杵病院看護部の目指す看護師像を管理者で共有しながらクリニカルラダーの見直しを行っているところです。

これからも病院の理念や機能を理解し役割を果たせる看護師等を育成し、そして、業務改善を進め、働きやすい職場を職員と共につくっていきたいと思います。



カンファレンス：医師、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士、多職種で患者さんの「これからの生活」を支援していきます。



透析室：患者さんに応じて早朝透析・夜間透析・長時間透析を行っています。透析中は声かけと適切な観察記録で安心していただきます。フットケアも重要です。



病棟：患者さんとのコミュニケーションを大切に。患者さんの思いに寄り添いながら、安心の医療を提供します。



訪問看護：有料老人ホームに訪問。その人らしく地域で生活できるよう支援しています。

2024年度 地区別施設代表者会議

協会役員が各地区で開催されている「看護の地域ネットワーク推進会議」に出席し、協会運営について施設代表者の方にご説明をさせていただくとともに、ご意見・ご要望等を伺いました。(16会場 256人、うち、オンライン開催1会場)

- 今年度は、①職場における働き方改革について：処遇改善（ベースアップ評価料等）、環境改善、求人及び離職対策等における工夫点や課題等
②入会促進について：入会促進を行う上での課題、有効な入会促進活動等
③拠出金について：拠出金にかかる課題、有効な納入促進策について
④看護協会への要望等 の4点についてご意見を伺いました。

今後の協会活動の参考にさせていただきます。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

お邪魔しました！



大分県かんごちゃん

こんなご意見をいただきました!!(一部抜粋)

働き方改革について

【人材確保】

- 人材不足が慢性化、募集しても応募がない、すぐに離職する。
- 派遣会社への依頼や外国人採用（看護補助者）が経費負担になっている。長期雇用も困難。
- 訪問看護ステーションの人材確保は深刻。
- 60歳以上の再雇用が進んでいる。
- 療養病棟や外来勤務の希望が多く、急性期や手術室を避ける傾向にある。
- 若手の価値観の変化（転職・離職）
- 学校へのリクルートにより、次年度の採用が決まった。

【ベースアップ評価料】

- 評価料導入により基本給アップしモチベーションにつながった。
- 中小規模施設では導入は難しい。

【処遇改善、環境改善、教育体制の整備】

- 子育て中の職員への支援を手厚くしている。（夜勤免除、時短勤務、休暇制度等）
- 教育体制の整備を強化した。
- メンタル面のサポート体制の充実が必要。
- 研修受講に関する費用は全額病院負担。

入会促進について

- 入会の意義やメリットを説明し入会促進している。（100%入会の風土）
- 看護賠償責任保険に加入できることが入会促進につながっている。
- 施設によっては会費や拠出金への補助制度がある。
- 入会キャンペーン（クオカード）により、若手にも入会を勧めやすかった。
- 電子マネー決済での会費納入制度を導入してほしい。
- 子育て世代、再雇用、他県からの転入者、非常勤職員は入会の意義やメリットを理解しづらい。
- 周辺地域は研修受講も難しく、入会のメリットを感じにくい。
- 中途採用者の入会金、年会費の減額はできないか。
→（回答）会費収納システム（日看ナースシップ）における対応が不可能なため、厳しい状況です。

拠出金について

- 入職＝入会＝拠出金納入の義務付けが職場風土として定着。意義や必要性を常に声掛けしている。
- 県外からの転入者や非常勤職員、育休者、若手職員は抵抗感が強く、同意が得られにくい。
- 分割での集金に管理者として労力を要する。
- 現金での持ち込み納入はできないか。（振込手数料の問題）
→（回答）現金納入も受け付けています。

その他

- 月ごとの研修計画表があると良い。（タブロイド版だけでは探しにくい）
→（回答）来年度は、別版で月別を作成する予定です。
- オンライン研修が増えて受講しやすくなった。
- 教材の借入期間を長くしてほしい。（5日間での返却は難しい）
→（回答）調整できますので、ご相談ください。

看護協会から

- ベースアップ基本料導入については、原資の確保が課題であり、患者への説明責任を果たすためにも給与ベースアップとともに看護の質向上に努める必要があります。
- 各施設とも入会促進のためのご尽力に感謝します。会員を獲得し組織を強化することで、課題解決や情報共有ができる、働く環境や処遇改善等の施策化につながる意義を管理者の皆様からご説明いただきたい。
- 拠出金については、会員組織の拠点である会館の維持に使われます。研修室の整備やオンライン研修導入のための設備整備、プロジェクト更新や空調改修等、会員サービス提供のために重要な資金です。現金での納入も受け付けておりますので、ぜひご協力ください。

看護の現場から

「看護」に対する思いや取組みについてご紹介します。

上野公園病院

住所／〒877-0062 日田市上野町 2226-1
TEL／0973-22-7723



組織の成長促進とキャリアアップ支援に取組んでいます。



生活機能に応じて地域に出る機会も設けています。



季節を感じる様々な行事に取組んでいます。

「医療・看護・介護・リハビリテーション・ソーシャルワークを通じ
患者様やその家族の方の医療福祉に貢献する」



上野公園病院
看護部長 橋口由美子

を併設しています。

看護部は、「私達は患者様の人権を尊重し、質の高い看護・ケアを提供します」を理念に掲げ、入院生活を安全に笑顔で過ごしていただけるように取組んでいます。

ここ数年はコロナ感染（クラスター）も経験、職員一丸となって乗り越えてきました。認知症高齢者は自覚症状を訴えることができない方も多く、看護職員・看護補助者共に「いつもと違う」と感じる『観察力』が必要です。毎日の生活（食事・睡眠・清潔・活動等）を援助しながら、異変の早期発見に努めています。

今後も、患者様の「笑顔」をたくさん見ることができるように、多職種で協働しながら前進していきたいと思います。そのためには、自身の研鑽と人材育成が必須です。各師長たちと討議し、研修や面談を通して次世代の管理者育成に取組んでいるところです。

当院は平成26年9月に「大分県認知症疾患医療センター」に指定されました。地域における認知症医療中核機関として貢献していきます。



2024年度 大分県職能別交流集会

今年度は「県民の期待に応える看護を目指して～2040年を見据えた看護の効率化と質の向上」をテーマで開催しました。

日 時：2024年9月7日(土) 9:30～12:00 (ハイブリッド開催)

企画・運営：3職能4委員会

参 加 者：307人 (会場参加：154人、Web参加者：153人)

(会場参加者内訳：保健師 60人、助産師 21人、看護師職能Ⅰ 58人、看護師職能Ⅱ 15人)



【全体会】9:30～11:00

開会挨拶 大戸 朋子 (大分県看護協会 会長)

趣旨説明 三宅 清美 (助産師職能委員長)

講 演 演題「県民の期待に応える看護を目指して～2040年を見据えた看護のあり方～」

講師 政策研究大学院大学 教授 小野 太一氏



小野 太一氏

30年ぶりに改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の内容と社会経済構造の変化に伴い、大分県内の市町村のデータも示しながら話されました。生涯にわたり活躍し県民の期待に応える看護職について考える機会となりました。

【職能別交流会】11:00～12:00

2023年度活動報告や2024年度活動計画、実践報告や意見交換等を行いました。各職能とも参加者の多い交流会でした。



保健師職能

保健師職能 「2040年を見据えた保健活動の改革・発展に向けて～これからの時代に求められる保健師活動とは～」のテーマでグループワーク、15名の新人保健師紹介を行いました。

助産師職能 「母子のための地域包括ケア病棟（仮称）推進に向けて（産後ケア事業についての実践報告）」「助産師の多様な働き方について」のテーマで3名の実践報告のあと意見交換を行いました。

看護師職能Ⅰ 「働き方改革の推進」をテーマに3名の実践報告の後、意見交換を行いました。

看護師職能Ⅱ 「老健施設を通してみる在宅支援の現状」の報告や意見交換を行いました。



助産師職能



看護師職能Ⅰ



看護師職能Ⅱ

アンケートでは…

「長期的展望の視点を持ちたいと思った」「感覚で感じている日常をデータで見ることができた」「他施設との交流ができた良かった。同世代の意見を共有できパワーになった」などの意見・感想がありました。

多くの参加があり、関心の高さが伺え、交流会も楽しそうでした！

2024年度 災害支援ナース等交流会

日 時 2024年7月25日(木) 9:30~12:00
対 象 災害支援ナース登録者、災害看護に関心のある看護師等
参加者数 55人

「新たな災害支援ナースの仕組み及び養成等について」 担当理事 加来 理香

2024年度より感染症法及び医療法の改正に伴い、新たな仕組みによる災害支援ナースの応援派遣体制が構築されました。養成研修や登録、派遣形態等、変更点について説明しました。



実践報告「令和6年能登半島地震における被災地での看護支援活動」

国東市民病院 江藤 美妙 氏・大分赤十字病院 渡邊 尚美 氏

令和6年元日に発生した能登半島地震における派遣先の病院での支援活動を報告。活動を通し、臨機応変な対応の必要性や受援体制の構築などの課題を提示されました。



「災害支援ナース活動の実際」～机上シミュレーション・講話～

大分赤十字病院看護師長・災害看護委員長 羽明 輝史 氏

いくつかの場面において机上シミュレーション・グループワークを実施。派遣要請から避難所での活動について分かりやすく説明しました。

開催後のアンケートでは「実際の活動体験報告は、とても参考になった」との意見が多かった。また、「被災した病院の受援体制を聞きたい」と希望もあり、交流会テーマとして検討したい。(企画・運営 災害看護委員会)

2024年度 リスクマネジャー交流会

「コミュニケーションスキルを高め、医療安全のさらなる推進を図ろう！」をテーマに開催しました。

日 時：10月5日(土) 9:30~14:30

参加者：101名（看護師84名、理学療法士4名、作業療法士1名、放射線技師1名、臨床工学士1名、検査技師1名、医療安全推進委員9名）



【講演】テーマ：「医療安全とコミュニケーション～TeamSTEPPS（チームステップス）の理解と実践～」

講 師：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 医療安全推進室 医療安全管理者 藤原 喜美子 氏

内 容：医療現場の現状を振り返りながら、安全で質の高い医療を推進していくための取組みについて具体的に説明。「医療安全とコミュニケーション」「ノンテクニカルスキルと心理的安全性」「TeamSTEPPSの概要」「チームならではの危険」など



講演後は「これから職場に帰ってできること」をテーマにグループワークを実施。

藤原先生もオンラインでGWに参加しました

助言・まとめ

- アサーティブな関係性をつくるためには、職種間の相互理解と尊重に基づくコミュニケーションが重要。「伝える方法（スキル）」を高める。それぞれが能力を最大限に発揮できる組織文化を形成する。
- インシデント報告「レベル0」を増やしたい場合は分析結果を現場にフィードバックすることが大切。
- 一度の研修で習得し広まるものではない。ツールや考え方を現場に落とし込み継続することが必要。研修を組織で位置づける。

【グループワーク・全体共有】

「各施設の医療安全の現状、現場での困りごと」「医療安全担当者のネットワークづくり」をテーマに委員も参加し情報共有や意見交換を行ないました。



委員も参加し活発に意見交換しました

【参加者アンケート結果】

「医療安全管理者としての認識を深めることができた」「明日から病棟で取り入れたい内容があり勉強になった」「他施設との交流がもて、情報共有できた」「チーム医療が大切だということが分かった」「グループワークの時間を増やしてほしい」「来年も参加したい」などの感想・意見がありました。

(主催：医療安全推進委員会)

令和6年度 地域医療介護総合確保基金活用事業

大分県中小規模病院等看護管理者支援研修 【学び、高め合おう看護管理能力】

日 時：2024年10月19日（土）13:00～16:00

主 催：大分県看護協会

協 力：大分県、大分県立看護科学大学、大分大学、大分県看護管理者連絡協議会

参加者：279人（会場：98人、オンライン：181人）

中小規模病院が全体の約9割を占める大分県では「看護の地域ネットワーク推進事業」を基盤として、「看護管理者が元気になる」「看護管理の視野を広げる」「自施設の看護管理を改善する」を目的に、中小規模病院等の看護管理者支援事業に取組んでいます。今年度で8回目の開催になりました。



(発表者、関係者)

開会挨拶 大戸 朋子（大分県看護協会 会長）

第Ⅰ部 報告『看護管理能力を高める取組み』

座長：後藤 幸代（豊後大野市民病院 看護部長） 大分県看護管理者連絡協議会

演題「由布地域における看護管理者の活動」

報告者：眞邊恵里子氏（日野病院 看護部長）

池田 真実氏（訪問看護ステーションハンズ 管理者）



演題「西部地域における看護管理者の活動」

報告者：靄野 留美氏（大河原病院 看護師長）

秦 清香氏（一ノ宮脳神経外科病院 看護師長）

総合討論 アドバイザー：原田 千鶴氏（大分大学医学部看護学科 教授）

福田 広美氏（大分県立看護科学大学 教授）

第Ⅱ部 特別講演「医療現場における倫理的な組織文化」

講師：勝山貴美子氏（横浜市立大学医学部看護学科看護管理学領域 大学院看護管理学分野 教授）

座長：増田 勝美（大分県厚生連鶴見病院 看護部長） 大分県看護管理者連絡協議会

閉会挨拶 麻原きよみ（大分県立看護科学大学 理事長・学長）

研修参加者の感想

- どんな規模の施設でも常に管理者は課題を抱えており、このような研修は解決法を知る機会になると感じた。他施設の取組みを聞き、自部署での取組みの参考にしたい。
- 多数の看護管理者が参加しているので、情報交換の時間ががあればネットワークの拡大が図れるのではないか。
- 現場が作り出す倫理的な組織文化について学ぶことができた。





大分県かんごちゃん

大分県看護協会の代議員選挙制度が変わります！

大分県看護協会では、これまで6月に開催される通常総会において、翌年度の代議員を選挙によって選出していました。しかし今回、一般社団法人・財団法人法第35条第4項の規定に則り、県内11地区を選挙区として正会員による代議員選挙を実施することとなりました。今回は正会員が代議員になるまでの流れについてお伝えします。

代議員の任務：大分県看護協会の「総会」は『代議員をもって構成する』としていますので、「総会」において決定すべきとされている重要な事項については、代議員のみが有している議決権行使することにより、大分県看護協会としての意思を決定していただきます。

Q1. 代議員はどうやって選ばれるの？

代議員は、11の地区の正会員の中から、各地区の代表者として選ばれます。代議員の候補者になるには、地区理事から推薦される方法と、正会員5名以上の推薦を受けて立候補する方法があります。

各地区には選挙区が置かれ、会員数に応じて代議員数が配分されます。この配分数と候補者数が同数以下の場合、選挙は行われず候補者全員が当選します。この仕組みを「無投票当選」といいます。

一方、候補者が配分数を超えた選挙区においては、その選挙区に所属する正会員に投票用紙を郵送し、期日までに記入済みの投票用紙を選挙管理委員会へ返送する「郵便投票」を行います。郵便投票は投票する期間を一定期間（1ヶ月程度を想定）確保できるため、ある程度の投票率を見込むことができます。また、集まった投票用紙を日中に開票することができるため、選挙を執行する選挙管理委員の負担軽減にもつながります。

なお、本協会の代議員定数は200名で、代議員数の4分の1以上の予備代議員も同時に選挙し、代議員の欠員補充に充てることとしています。

皆さん！
よろしくね



かんごちゃん

Q2. 日本看護協会の代議員との違いは？

日本看護協会と大分県看護協会の代議員には2点の違いがあります。

1点目は、議決権行使する場所です。当協会の会員は同時に日本看護協会の会員でもあります、代議員として就任した法人の総会でのみ議決権を持ちます。日本看護協会の代議員を兼務することも可能ですので、両方の総会で議決権を持つ人がいることになります。

2点目は選挙方法です。大分県の代議員は、先に述べたとおり11地区を選挙区として正会員による選挙を行います。日本看護協会の代議員は、日本看護協会が指定する代議員数（大分県は10名）及び予備代議員数（10名）を大分県看護協会総会において当協会の代議員が選出します。今後もこれまでどおりの方法で行います。

大分県看護協会と日本看護協会の代議員の違いについては、表1をご参照ください。

(表1) 大分県看護協会の新たな代議員と日本看護協会の代議員の違い

	(新) 大分県の代議員	日本看護協会の代議員
地位	大分県看護協会の会員	日本看護協会の会員
任期	1期1年（再選可能）	1期1年（再選可能）
定数	200名	選挙前年12月31日付の会員数に基づき、日看協が配分数を決定する（全体750名中、大分県は10名）
配分数の見直し	毎年	毎年
選挙の実施	毎年（一斉改選）	毎年（一斉改選）
選挙権	選挙年の8月末日時点で当該地区の正会員の者	大分県看護協会の代議員
被選挙権	①立候補した正会員 ②地区理事から候補者として推薦を受けた正会員	①立候補した正会員 ②推薦委員会から候補者として推薦を受けた正会員
選挙公示	選挙年の8月末日	選挙の3か月前（看護おおいた2月末号で公示）
選挙方法	配分数と同数以下の場合は、無投票当選 配分数を超える候補者がいる地区においては、地区選挙実施（郵便投票）	日本看護協会の指定する代議員数及び予備代議員数を大分県看護協会総会において選出する
選挙時期	12月頃に投票用紙を郵送し、1月に開票	6月通常総会日
予備代議員	あり（定数は代議員数の1/4以上） ※代議員の欠員補充に充てる。選挙方法は代議員に準ずる	あり
議決権行使場所	大分県看護協会の通常総会	日本看護協会の通常総会

※「法人法」及び「内閣府の定款変更の留意事項」により、すべての正会員（正社員）について「会員（社員）」を選出するための選挙で等しく選挙権及び被選挙権が保証されている

Q3. 今後のスケジュールはどうなるの？

2025年度の通常総会は、2024年度の通常総会において選出された代議員による総会となります。2026年度の通常総会の代議員から新制度による選出となります。

まずは2025年8月末日に地区選挙の公示を行い、その後1か月間立候補を受付ます（9月末日まで）。定数以上の立候補がなく無投票当選の場合は、11月30日に代議員、予備代議員候補者名を公表すると同時に、候補者全員が当選となります。

立候補者数が配分代議員数より多い地区においては、12月に地区選挙（郵便投票）を行います。選挙期間を約1か月間とし、2026年1月中旬に開票、地区選挙結果の公示、候補者への結果通知を行います。2026年3月には各選挙区で選出された代議員・予備代議員への就任通知を行い、2026年6月に新制度により選出された代議員による総会を行います。

〈スケジュール〉

年度	月	項目
2024	4月	
	5月	
	6月	○通常総会 ○ (2025年度代議員・予備代議員選出) ・ <u>定款改正案審議</u>
	7月	7月1日 改正後の定款施行日
	8月	
	9月	
	10月	<ul style="list-style-type: none">・定款施行細則等改正事務・新たな選挙制度の会員への周知（看護おおいた、ホームページ、チラシ等）・地区理事、選挙管理委員会、推薦委員会等役割の周知（理事会、委員会）
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	<ul style="list-style-type: none">・選挙運営マニュアル作成・各地区選挙人名簿（正会員名簿）の作成・地区理事、選挙管理委員会、推薦委員会等役割の周知
	3月	
2025	4月	施設代表者会議で新たな選挙制度について説明
	5月	
	6月	○通常総会 ○2024年度通常総会で選出された代議員による通常総会開催
	7月	
	8月	各地区選挙人名簿公示（8/31）
	9月	立候補受付（8/31～9/28）、各地区理事推薦候補者名簿作成
	10月	
	11月	候補者数が配分代議員数以下の場合、 無投票当選⇒11/30代議員・予備代議員候補者名の公表
	12月	候補者数が配分代議員数より多い場合は 地区選挙の実施
	1月	地区選挙投票用紙の開票、地区選挙結果の公示、候補者への結果通知
2026	2月	
	3月	各選挙区で選出された代議員・予備代議員就任通知 (任期2026年4月1日～2027年3月31日)
	4月	
	5月	
2026	6月	◆通常総会 ◆各選挙区で選出された代議員出席による通常総会開催
	7月	

もう一度看護師として働いてみませんか



「ご自身の生活を大事にしながら看護師としてもいきいきと働く」ことは大事ですね。子育て中のママや転職された方など県内の素敵な看護師の皆さんのお姿を動画にし、現在SNSで発信しています。下記のQRコードを読み取ってね！



津久見中央病院



臼杵コスモス病院



黒木記念病院



杵築市山香訪問看護ステーション

就業に関するご相談はナースセンターへ。ナースセンターはあなたの生き方を応援します。

問い合わせは▶ TEL : 097-574-7136 (日・月・祝日を除く火～土) 9:00～17:00
Mail : oita@nurse-center.net



社会福祉法人
別府発達医療センター

別府発達医療センターは、『和顔愛語の精神で地域福祉に貢献する』という理念に、整肢園やめじろ園などの入所サービスやひばり園などの通所サービスなど、障がいをもつお子さんに幅広いサービスを提供する療育の核となる施設です。温かい看護に定評があり、子育て世代の方もたくさん働いているので、仕事との両立にも理解がある施設です。ナースセンター紹介の中島さんの働き方を伺いました。



中島さん

『和顔愛語の精神で地域福祉に貢献する』という理念に共感し自分もその一人として働きたいと思い、利用者さんに親身に接する職員の方々の温かい雰囲気に惹かれ入職しました。ブランクがありましたら、丁寧に指導してくださり、相談もしやすく安心して業務を行うことができます。師長さんをはじめ、スタッフ全体が家庭と仕事の両立に理解があり、子供の急な発熱や自分が体調を崩した際にも業務調整してくださり、無理なく働ける環境です。

看護師 中島絵理奈

中島さんは急性期病院での勤務経験をもとに、医療ニーズの高い重症心身障害児（者）病棟、めじろ園で活躍していただいている。入職の動機「患者さん一人ひとりに丁寧に向き合う看護がしたい」という志と、センター理念の“和顔愛語の精神”を備え、日々利用者へ心のこもった看護を実践していただいている。重症心身障害児（者）施設は病院としての機能を備えつつ、入所者にとって“生活の場”でもあります。病棟全体が家庭のように温かく、安心して過ごしていただける質の高い看護を目指しています。めじろ園では子育て世代を迎える若いスタッフも多いため、今後も皆が無理なく働き続けられるような職場環境を整えていこうと思います。

看護部長 大門 健二



大門看護部長と一緒に

再就職応援セミナーのご案内

☆参加者☆ ブランクがあっても再就職に不安がある方、 募集中 お気軽にご参加ください！

開催日

※同じ内容で2回開催します。

- ① 2024年11月28日(木) 29日(金) 10:00~15:00
- ② 2025年1月30日(木) 31日(金) 10:00~15:00

会場

大分県看護研修会館

内容

看護の動向、社会保険の基礎知識、急変時の対応、採血静脈注射点滴、履歴書の書き方、面接の受け方など多彩な学習内容です。

特典

申込の1ヶ月～2ヶ月間、お持ちのパソコン、スマートフォンなどから看護技術をWeb学習できます。

詳しくは、当協会ホームページをご覧ください。



こんな働き方していま～す

医療法人 久寿会
鈴木病院

日出町にある鈴木病院は、「一人ひとりに真心こめて、皆様の声を大切に住み慣れた町での安心を応援します」をモットーに、介護老人保健施設やデイケアなども併設するなど医療と介護をトータルに運営する病院です。スタッフの協力体制が抜群で、入職時もペアナース制を導入するなどしっかりフォローしてくれます。ナースセンター紹介の宮崎さんの働き方を伺いました。



宮崎さん

私は、看護職47年目になります。保母として2年間児童福祉施設で勤務。その後看護師として、主に救急病院で17年間、耳鼻咽喉科専門病院で28年間働いてきました。R5.2月別府への転居を機に、ナースセンターの紹介で鈴木病院へ入職しました。有料老人ホーム・保育園・介護保健施設を経て、4月から病棟勤務です。病棟では、主に病状の安定したチームでの処置や点滴・検査入院対応を行っています。体調に合わせた業務内容や、勤務時間の調整を考えてくださる中で働いています。健康に留意し、看護の精神と笑顔を大切に働いていきたいと思います。

看護師 宮崎加代子

鈴木病院は、40床と小規模の急性期一般病院です。消化器・泌尿器を中心、当院で対応可能な様々な疾患の患者様が入院します。看護職員は、多様な経験・年齢の職員が勤務しています。経験や体調などから勤務場所・勤務方法などを決め、状況に応じた働き方、本人の強みを生かした働き方ができるよう調整しています。子育て中や持病のある職員もあり、相互に支えあって一人ひとりを大切にしている職場です。看護助手・クラーク・リハビリスタッフ等、多職種がとても協力的です。現在は、准看護師から看護師へと学びを深めている職員もおりみんなで応援しています。

看護部長 岩尾 英美



岩尾看護部長と一緒に

地区活動紹介

No.7

大分西部地区

大分県看護協会では県内を11地区に分け、それぞれの地域で「地区活動」を展開しています。地域の特徴を活かした企画や看護の課題に、地域のいろいろな場面で働く看護職が一緒になって取組んでいます。

大分県西部地区では、地域の医療機関、介護施設、訪問看護、地域包括支援センター、行政機関等、様々な場所で働く看護職が協力し、地域包括ケアシステムの推進と看護職の資質向上を図るための教育・研修会等を実施し、活動しています。

例えば、「新人研修会」では、看護職のスキルアップを目的とした医療技術やケア方法に関する講義や実技研修、「全体研修」では、看護管理職を対象に、リーダーシップやマネジメントスキルを向上させるための研修等を企画しております。これにより、組織全体の質の向上を図っています。

また、看護職のメンタルヘルスを支援するためのカウンセリングやストレスマネジメントのワークショップ等も提供しています。今後も地域医療の強化、看護師のスキルアップを目指し、連携が深まる地区であるとともに看護管理者の課題共有と解決の場にしていきたいと思います。

(地区理事 古椎 久美)



全体研修会
「アンコンシャスバイアスについて」
(6月 21 日)



11月3日は「いいお産の日」です。

大分県看護協会は、大分県助産師会との共催で、妊婦体験・ベビーマッサージ体験・女性のための健康相談コーナーを開設しました。幅広い年齢層の方が来場され、妊婦体験や健康相談を通して「いいお産の日」をPRすることができました。（助産師職能委員会）



男子学生や若いお父さんも妊婦体験や赤ちゃん抱っこ体験を通して命の大切さや妊娠による体の変化を理解してもらうことができました。

- 日 時 10月27日（日）10:00～15:00
- 来場者 健康相談79人、妊婦体験16人、ベビーマッサージ3人
- 場 所 大分県立図書館

お産に関するイベントが全国的に行われています。



ベビーマッサージは、スキンシップを通して親子の絆が深まりリラックスできることを体験を通して伝えました。

地域活動のご紹介

様々な場所で、県民の健康を支援する活動と看護職のPRを行っています



げんき教室 ~ボランティアナースの協力を得て、当協会で定期的に開催しています~

6月 「教えて脳卒中～いざという時に～」

講師：井本 万美子氏（永富脳神経外科病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）

7月 「転倒予防～熱中症予防と体づくり～」

講師：鈴木 新司氏（有四季彩 在宅事業部長、椎迫事業所 実の里 施設長、理学療法士）

9月 「災害時の備え、できていますか？避難所生活における健康管理」

講師：大分県看護協会 災害看護委員会

10月 「今日から始める認知症予防 体と頭を使つていきいきと」

講師：真田 康孝氏（コスモス病院 大分県作業療法士協会 認知症作業療法推進委員）

一日まちの保健室 ~各委員会の委員、ボランティアナースの協力を得て開催しています~

『Stop CKD in Beppu × ゆめタウン別府店×市制100周年記念事業』

8月25日（日）10:00～16:00

場所：ゆめタウン別府店（初参加です）

- 検査コーナー、体験コーナー（体力測定、ベジチェック）、相談コーナー（医師・薬剤師・管理栄養士）、食品メーカー出展ブースを設置したCKDに関するイベントでした。



『健康寿命日本一おおいた推進フォーラム』

9月29日（日）9:30～15:00

場所：トキハインダストリー あけのアクロスタウン

- 県民に健康寿命延伸の取組みを広く普及することを目的に開催されました。358人の来場があり、健康相談・計測を行いました。



『けんしん 一日まちの保健室』

10月15日（火）9:00～12:00

場所：大分県信用組合 東大分支店

- 待ち時間を利用し、健康相談・計測を行いました。



『県図書 一日まちの保健室』

10月27日（日）10:00～15:00

場所：大分県立図書館

- 大分県がん診療連携協議会、大分県放射線技師会、大分県助産師会と一緒に開催しました。骨密度測定、乳がん触診体験、がんのリスクチェックなど、それぞれのブースには幅広い年齢層の方たちの来場がありました。

『あすぴあフェスタ2024』

10月27日（日）10:00～15:00

場所：大分県総合社会福祉会館

- 障がい者との交流、ふれあいを目的としたイベントで開催しました。



研修部だより

「2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル」が修了しました

「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」は、1) ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる 2) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる 3) 看護管理者の役割と活動を理解し、これからのかの看護管理者のあり方を考察できるを到達目標に開催しています。

今年度は、県内各地の50施設から90名という過去最高人数の受講生が集いました。

5月17日に開講し、9月20日までの延べ19日間（105時間）を共に学びました。長期間の研修で仲間意識も生まれ、また、自施設を客観的に振り返る機会にもなったと思います。

勤務と両立させながらの教科目レポートや実践課題計画書の作成など大変だったと思いますが、この研修で培ったネットワークは受講生にとって今後看護管理を遂行していく上で大きな財産になることでしょう。

9月20日（金）の閉講式・修了証授与式では全員が修了認定されました。看護協会長より修了証を授与された90名は、将来の看護管理者の卵として羽ばたいていきました。

研修での学びを実践しつつ、次のステップ「セカンドレベル研修」を受講していただけることを期待しています。



閉講式・修了証授与式

実地指導者フォローアップ研修を開催しました

10月16日に「実地指導者フォローアップ研修」が行われ、40名が受講しました。

この研修は、前年度実施の「実地指導者研修～プリセプターのあなたへ～3日間コース（大分県委託事業）」の受講者を対象に行われる研修です。受講生は、実地指導者としての役割を担う中で、新人看護職員指導上の問題や困難に対して事例を通して解決方法について学びました。

今年度も、第1回：2024年12月10日～12日、第2回：2025年1月14日～16日に**「実地指導者研修～プリセプターのあなたへ～」**を開催します。新人看護職員研修を効果的に実施するための知識・技術・姿勢を、他施設の看護職と一緒に学ぶことができる研修です。多くの方の参加をお待ちしています。



自施設での実地指導の実際を報告し合い、これからどのように関わっていくか立ち止まって考えることができました。

「認知症高齢者の看護実践に必要な知識 2日間コース」を受講された方へ

6月11・12日と10月29・30日に「JNA収録DVD研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 2日間コース」が開催され、多くの方が受講されました。

この研修は、国の施策や医療の現状を理解し、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的知識を理解するための《認知症ケア加算2および3に係る研修》です。

認知症高齢者の看護に必要なアセスメント、多職種との連携、療養環境の調整方法や意思決定支援など、演習やグループワークを通して学びを深めました。

この研修は、2025年2月に開催する「看護職員認知症対応力向上研修 3日間コース（大分県委託事業）」へのステップアップを図ることができますように計画されています。

「看護職員認知症対応力向上研修 3日間コース（大分県委託事業）」は、認知症患者・家族ケアの基本的知識や個別性のある実践的な対応力を習得し、適切なマネジメント体制を構築するための研修内容となっています《認知症ケア加算2に係る研修》。併せての参加をお待ちしています。



演習やグループワークを通して、認知症高齢者ケアについて学びを深めることができました。

理事会審議事項報告（2024年7月～10月）

7月 第5回理事会：2024年7月20日（土）

- ・2024年度第3回理事会 議事録（案） 承認
- ・正会員による大分県看護協会代議員（予備代議員）の選出について（案） 承認
- ・ポイントシール運用変更について（案） 承認
- ・看護研修会館第3研修室プロジェクトの更新について（案） 承認
- ・役員賠償責任保険の継続について（案） 承認

8月 第6回理事会：2024年8月17日（土）

- ・2024年度第5回理事・地区長会議事録（案） 承認

9月 第7回理事会：2024年9月21日（土）

- ・正会員による大分県看護協会代議員（予備代議員）の選出について（案） 承認
- ・2024年度第6回議事録（案） 承認
- ・第47回大分県看護研究学会の運営について（案） 承認
- ・「大分県看護協会入会促進キャンペーン」の実施について（案） 承認

10月 第8回理事会：2024年10月12日（土）

- ・正会員による大分県看護協会代議員（予備代議員）の選出について（案） 承認
- ・「定款」改正案の2025年度通常総会議案提出について（案） 承認
- ・大分県看護協会ホームページの更新について 承認
- ・2024年度第7回理事会議事録（案） 承認

2025年度
会員係より 会員継続・会員情報変更の手続きについて

11月

会員継続の手続き

- 案内が順次届きます

【重要】

継続のお知らせが「封書」から「圧着ハガキ」へ変更されます。
従来の「変更届」(書類)は同封されません。



イメージ図です

会員情報確認・
変更の手続き

- 会員専用WEBページ「キャリナース」にログイン、もしくは新規登録し「会員情報」と「会費情報」を確認ください
URLもしくはQRコードよりログイン▶<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

◀キャリナース
QRコードは
こちら

- 「会員情報」「会費情報」の変更や「口座情報」に不備がないか確認ください

【変更・不備なし】→手続き不要

【変更・不備あり】→原則【キャリナース】で申請ください

<会員情報>に変更あり→会員情報変更よりご変更ください

<会費情報>に変更あり→会費納入方法変更よりご変更ください

<口座情報>に不備あり→口座情報の変更よりご変更ください

【キャリナース】での申請は…
スマホ・パソコンひとつで手続き完了♪
切手も不要でポストへ出向く時間も節約できます

【書類（用紙）での変更をご希望の場合】

<施設所属の方> → 施設の取りまとめ者へご依頼ください

<施設の取りまとめ者> → 「入会関係書類請求用紙」にて「入会申込書／会員情報変更届」をお取り寄せください。
詳しくは協会ホームページをご覧ください

<個人会員の方> → 大分県看護協会 会員係へご連絡ください

退会希望

- 大分県看護協会ホームページより「退会届」をダウンロード・記入して会員証とともに大分県看護協会へ送付ください。
退会届は、「日本看護協会」には送付しないでください。手続きが間に合わない場合があります。
- 会費納入方法が「口座振替」の方は、**12月18日**までにご提出ください。
- 3月19日**までに協会着分のみ、翌年度会費返金対象となります。4月以降は返金はなく、当該年度の退会はできません。

【お問合せ先】大分県看護協会 総務部 会員係 097-574-7117

Information

(2024年12月～2025年3月)

(開催会場は大分県看護研修会館です)

看護職連携強化交流会 (ハイブリッド開催) 日 時：2024年12月7日(土) 13:00～16:00

看護の地域ネットワークサミット (ハイブリッド開催) 日 時：2025年1月25日(土) 9:30～12:00